

## 新入会員さんをご紹介します♪

### 【南西支部】

井上 誠さん  
(株)井上フード  
代表取締役



### 【水戸支部】

伊藤 祐さん  
(株)エージェント・インシュ  
アランス・グループ  
ゼネラルマネージャー



茨城同友会会員数 291名

11月9日理事会時点

支部	日立	県央海浜	水戸	南西	県西	ドラゴン
現会員数	34	26	109	63	28	31
2021年度支部目標	55	35	120	74	33	35

どうぞよろしく  
お願いします!



会員は辞書の1ページ

## 第9回いばらき中小企業経営フォーラムが開催されました

### 浜路実行委員長あいさつ



本日のフォーラムでは、冒頭からグループ討論をされたと思います。オンラインはどうしても傍観者になりがちです。そこで、言葉を発表することで主体性がうまれ、簡く耳を持ってもらえるのでは、という理由でこのように形にしました。このフォーラムの主旨である、「現状を打破するパワーを見て聞いて体験することで、自社の現状を見つめ直し、明日からの新たな一歩となること」を念頭に置いて準備してきました。

(株)三和食鶏 稲毛田さんの実践報告では、理念をつくり社員と共に強靱な企業を作るため、生きるをつなぐ事業展開、新しいことに挑戦し続ける稲毛田さんの自社への想いを聞いていただき、何かものすごく熱いパワーを感じていただけたかと思えます。

特別対談ではファシリテーターである鬼澤さんにさらに引き出された稲毛田さんも、ありがたい姿を再認識できたのではないのでしょうか。そして皆さんもありがたい姿を描けましたか？最後のグループ討論で、明日から実践することが明確になったのではないかと思います。先ほどの発表の中でも、「経営理念は経営の心臓である」といういいワードが飛び出したくらい、いいグループ討論が出来たのではないのでしょうか。

今回私の中でもう一つテーマがありました。それは【挑戦】です。まずコロナ禍によりこのフォーラム完全オンラインで開催する事への挑戦。時代はオンラインハシフトしていく中で、私たち経営者がいち早く柔軟にこの企画に対応して不備や課題を解決していかなければいけない。これはまさに実行委員会みんなの挑戦でした。いかに温度感を伝え、主体性を持ってもらうか。普段講演を聴くだけのZoom参加。これを参加型にしよう！と、対談形式をとり入れ、飽きさせずに集中して身にしてもらう事への挑戦をしました。さらに映像という可能性への挑戦。フォーラムをきっかけに自社のCMを作ってみませんか？この募集にあつという間に満員締切となりました。皆さん、映像の可能性、必要性を感じているんですね？これに踏み出すことができる新時代への新たな挑戦でした。そして私の挑戦。全世界同時不況、計り知れないこの時代にフォーラムの実行委員長を引き受けることになりました。もちろん私の会社においてもこの影響を受けています。断ることは簡単でした。しかしこのタイミングで来るということは何か成長があるはずだ！と、超ポジティブに捉えさせていただきました。「志高く事を成す」理念・ビジョンをしっかりと掲げ、それに向かって継続してやり続ける事において、コロナ禍のようなイレギュラーは起きて当然であると思えるように、いかにしっかりと心を持ち、社員たちに不安を与えず進んでいけるか。そしてこの思いをフォーラムを通じて発信したいという私の挑戦でした。

始めて経験すること、初めての試み・感覚・進んでいる技術。実行委員会という大きな組織づくり。打ち合わせもオンラインでした。知らないことだらけ、様々な悩み・葛藤がありました。それを実行委員のみんなと共に挑戦しました。私はこの経験を生かし、自社にしっかりと持ち帰り生かしていきたいと思えます。

今回のフォーラムは私の中で、一つのテーマのアクションと考えました。入り口を入ると様々な体験をして、すごかった～楽しかった～などの高揚した気持ち生まれ、出口へ出ていきそれで終わりです。こんな言葉があります。「鉄は熱いうちに叩け」ここで終わりでありません。次は実践です。この時を殺すも生かすもあなた次第です。私たち中小企業家は夢は深く、根は深く、明日からの皆さんの活躍を願っております。

本日は誠にありがとうございました。

フォーラム詳細報告は次号(^^) /

No.305号 2021年11月30日

# DOYU IBARAKI



発行:茨城県中小企業家同友会  
〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館3階  
Tel:029-243-8230  
Fax:029-243-7225  
Mail:info@ibaraki.doyu.jp

## 第22期経営指針を創る会第5講 フレ発表会



永岡 暁 委員長

第22期の経営指針を創る会が、10月3日と4日にコロナで延期となっていた合宿を終えて、いよいよ10月18日(月)にフレ発表会を迎えました。今期は6月からスタートし、コロナ禍であっても、リアルでの開催にこだわり、委員会全体で本気になって受講生に寄り添ってきました。感染拡大による緊急事態宣言を受けて、8月に行われる予定だった合宿は延期を繰り返し、7月の第2講から、2ヶ月以上間を空けて、10月3日、4日に開催。受講生は合宿会場となった阿字ヶ浦クラブで夜中まで理念と10年ビジョンづくりに没頭しました。合宿から2週間後の10月18日、コロナに翻弄され、紆余曲折を繰り返しながら、悩みながらも自社と自分自身に向き合い創り上げた理念と10年ビジョンを発表しました。フレ発表会では受講生が自社の経営指針発表会などを想定し、理念や将来のありたい姿について発表後、委員やOBによる叱咤激励と、後半戦の講師である伊藤史紀さんからフィードバックがありました。フレ発表会を終えて、後半戦の第6講からはいよいよ、描いた10年ビジョンを成し遂げるためにどの様な道筋を描くのか、現状をしっかりと分析しながら、具体的な方針と計画の策定が始まります。



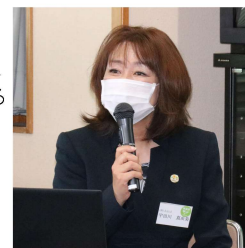
## 2021年新入社員フォローアップ研修会

今年度の新入社員フォローアップ研修会が、10月15日に茨城県総合福祉会館で開催されました。この研修は4月に開催された新入社員研修会の半年後のフォローアップとして、毎年10月の開催しているものです。

今年は、4月の新入社員研修会がコロナの影響によりオンライン開催となってしまったため、受講生同士の横の繋がりや交流会を通しての「同期の絆」を醸成することが出来ませんでした。社員共有委員会のメンバーも10月のフォローアップは何となくしてリアルで集まる形を取ってあげたいという想いがあり、緊急事態宣言も解除されたことから感染対策を講じた上で、リアル会場での開催となりました。

午前の部では、金井社員共有委員長から4月の研修の振り返りが行われた後、グループワークを通してアイスブレイクを行いました。

午後の部では、午前中のみとめが行われた後に、「働くということ」をテーマに、経営者からの問題提起を(株)あおば代表取締役の宇田川真由美さんから講演いただきました。宇田川社長の「思考は言葉に出る」「未来は自分が創るもの」というキーワードに、受講生は熱心に耳を傾けていました。講演の感想を共有し、その後、グループ討論で活発なディスカッションを行い、全員がチームの一員としてテーマを継ぎ、それを漢字一文字に表して発表を行いました。今年の言葉は「動く」。社会人として半年間の実践し、学んで来たことをこれからどう「考動」に移していくか、一人ひとりのこれからの成長が楽しみです。



(株)あおば  
宇田川真由美さん



# 日立支部

10月6日(水) 日立地区産業支援センター・Zoom同時配信  
報告者:久保木祐介さん (株)スリーケイデザイン 代表取締役  
『3人で売上3億円!躍進する3Kデザイン  
～え!?その仕事まだ自分でやってるの?～』



僕と久保木君との出会いは第20期で受講した経営指針セミナーで同期だったのがきっかけです。  
最初に出会った時の印象とはまるで違って、こんな柔らかい雰囲気の彼の口から「自分は自由な時間と金が欲しい」という人間の本质というが欲というか、どこか日本人としてはタブーとされているような部分をストレートに言い放ったのを聞いた時に、すごくドキッしました。それと同時にすごく納得しました。  
何のために仕事しているのか?誰のために働くのか?やりたいことを仕事で実現するためのものか?社員さんや地域の雇用のためなのか?  
今回の例会作りをしていく中で久保木君は、みんなの本音を聞ける例会にしたいと言っていました。そしてそれは実現できたと思います。  
今回の久保木君からの投げかけによって、自分にとって仕事とは何か、経営の目的は何か、皆さんの中にある目的を今一度振り返り、何かの気付きになる例会になったと思っています。  
私自身を振り返った時、私の場合は、父が倒れ、会社を存続させるためにそこだけを見ていた期間が長く、働くことの本質の部分を忘れていたことに気がきました。そして、それは決して忘れてはいけないことだと気づきました。  
久保木君の言葉の中からは「幸せ」とか「豊かな生活」といったキーワードがたくさん出てきます。仕事の中に幸せを見つける人もいれば、幸せになるために働く人もいます。社員さんや職人さん、そのご家族にも幸せで豊かであって欲しい。久保木君はその幸せを共有するために、キッチリとビジョンを掲げ、計画し、結果を出しています。これこそ、経営者ではないでしょうか?



自分の中で何が一番大切なのか、達成するために何が必要かを振り返るキッカケになったのなら今回の例会発表は大成功です。  
僕自身も久保木君とは指針の同期、同い年、それなのにこんな立派な久保木君に、せめてゴルフだけは負けないよう頑張りたいと思います。  
(レポート:鎌倉 正行さん)

# 県央海浜支部

10月28日(木) 茨城県総合福祉会館・Zoom同時配信  
報告者:小宮 敦士さん (株)小宮造園 代表取締役  
『新緑の巨人になるために  
～生を扱う為に必要なこととは～』



創業47年法人化3期目の小宮造園、2代目の小宮敦士社長。小宮造園に1度は入社するも1年ほどで退職、数年後に再就職をしてから、多くの人から、生の教えをいただいています。道具の大事さを教えられ、道具に対する考え方を改めて、仕事に対する楽しさを考えさせられてきたそうです。先代の体調不良後、一族が一丸となって、小宮造園を再出発させようとしたときに、一族でのギクシャクした環境から打開するため、2代目としての覚悟を決めて法人化を実現させました。樹木に対しての接し方は、人間と同じ扱いを意識しているそうです。生命があるものは、人間と同じ考えを持ち、成長を考えたり、身だしなみを整えるようなことも考えているそうです。まずは仕事を遂行させないためにも、他社の苦勞をすべて受け入れて、困ったときはお互いに協力すべきという考えでもあります。伐採と同じように、必要なものと不必要な物の整理を会社としても行い続けていき、今後は造園だけではなく、樹木の魅力を地域の人々に伝えていく事業も考えているそうです。樹木のように枝分かれと剪定を行っていき、自社の成長を止めない、株式会社小宮造園のビジョンに向かう姿勢を今後も期待される報告でした。  
(レポート:高村尚志さん)

# 水戸支部

10月27日(水) 茨城県総合福祉会館・Zoom同時配信  
『あの会社、広告やめるってよ。～新しいSTAGEへ～』



YouTube、WEBサイト、ECサイト、SNSどれも有効に使えば、自社の大きな武器になると思います。しかし、これらの宣伝ツール、広告を出すという事は決してタダで出来るものでもないし、時間も労力も必要になってくると思います。誰かがやっているからとか、このツールが流行っているからとか、本来の有効活用をバルソナに沿って使用しないと、無駄になってしまおうと思います。もう一度自社の宣伝、広告を見直して、自社に最適な広告を武器に次へのステージへ進んでみてはいかがでしょうか?  
(レポート:高橋啓介さん)

# 南西支部

10月26日(火) Zoom配信  
報告者:青木 恵之さん (有)日青工業 代表取締役  
『～Made in the future! 未来からの発想～  
未来は現在の仕事の延長線上にはない!』



南西支部10月例会はドラゴン支部(有)日青工業の青木恵之さんの報告でした。題目は～Made in the future! 未来からの発想～「未来は現在の仕事の延長線上にはない!」でした。Zoom例会でしたが、青木さんの熱い思いが伝わってきた例会でした。コロナ渦でも、経営理念に掲げているように、板金加工の会社の枠を飛び出して面白い未来をつくる会社へと変革を遂げていました。自社製品を開発する青木さんの手法はとても勉強になりました。ストーリーがある製品づくりをしながら、情報を発信していくことでブランド力をプロデュースする。「製品・商品の豊かな物語性」と「製造者・売り手の顔(人柄)」を伝えていく。今の時代は、努力が、発想が、才能が、埋もれない時代だともいえます。それには、未来に咲かせたい種を持ち自社で育てていく事が重要です。そんな、明るい未来を描けるようなヒントを頂けた参加者が元気になった例会でした。  
(レポート:須藤利明さん)

# ドラゴン支部

10月14日(木) BOOMS・Zoom同時配信  
報告者:大野順市さん 大野社会保険労務士事務所 代表  
『人事制度を作ってみよう!  
～人事評価が人材育成・業績向上につながる～』



人事考課は、陸上競技や水泳競技のように時間や距離で明確な順位をつけるものではありません。人事考課は、考課者が主観的になりがちです。いかに正しく、客観的に評価するか、評価者側にも教育が必要です。報告の中にあつた評価制度のうまくいかない原因、重要ではあるが緊急性ではないということ、これは私の会社でも当てはまります。緊急性が無いのでどうしても後回しにしてしまおうというのが実際のところ。それと目標設定、これらを考慮し、仕事が業績に直結した目標値を決め、長い期間の中で経過測定も必要だと感じました。最初の目標を設定してから評価するまでに期間があるので、途中経過の評価の重要性を感じました。また目標設定は具体的にということでしたが、「しっかりやる」「一生懸命頑張る」などの言葉は評価できないということを知りました。最後に、経営者の主観的評価ではなく、考課される側もある程度納得できる評価方法を行い、評価される従業員のモチベーションが上がり、業績が向上するような制度を取り入れたいと感じました。  
(レポート:岩佐英明さん)



例会開催のご案内などメールが届いていない方はいませんか?  
IDやパスワードが分からなくなってしまった方はいませんか?  
ぜひ一度ご確認をお願い致します。お問い合わせは事務局まで!

<https://ibaraki.e-doyu.jp>

ホームページも見てね  
←<https://ibaraki.doyu.jp>



【編集後記】会員の皆さまにはいつも会報誌作成にご協力いただきありがとうございます(\*^-^\*)  
世の中の変化のスピードについていけないと感じ始めた今日この頃...情報の多さに目が回る。  
先日中3の息子が「デジカメって何?」と聞かれてビックリ(°\_°) そうだよな、スマホ世代は使ったことないよね...  
祖父母がよく話してくれた戦中時の話。「昔は車もなかったから...」またか、もういいよ、と思いながら聞いていたけど、  
つつい私も昔はね、ポケベルってのがあってね...」なんて話をしています(笑)  
この前ふっと寄ったお店のマスターがレコードをかけてくれました。存在は知ってるけどLPは買ったことないし、ちゃんと聞いたらとてつもない。古めなスピーカーから流れてくる重厚感。曲も70~80年代の音楽で、これがまた絶妙なカスレ具合。雰囲気パッチリでつつい強めのお酒に手がのびる...。そして次の日向かったわたらせ渓谷。「切符をお持ちでない方はいませんか?」と車掌さんが車内を歩き、駅員さんに切符を手渡す。木造の駅舎がたまらなく愛おしく、紅葉した山々を見ながらゆっくりに流れる時間。両手に白菜を抱えたおじいちゃんや、割烹着姿で井戸端会議してるおばあちゃん。小さい頃を思い出し懐かしさでいっぱいになりました。  
途中立ち寄った富弘美術館で心打たれた作品。「立ち止っていいんだよ ぶり返っていいんだよ そこに美しいものを見たのなら すわりこんで すうっと見ていいんだよ」  
もちろん今の生活はとても便利で快適になったけど、どうにもせわしない。次から次へとタスク消化の日々。たまにはこんな風に「変わらないからこそ美しい」モノや風景に触れ、心と体をリセットする時間も必要なんだなあ...。(Shimo)